

平成25年度 第1回 議会報告会での意見等への回答(回答保留分)

	主なご意見	回答の要旨
1	新潟祭りの花火開催期間が3日間になったが理由は。(北区)	新潟まつりの担当課である観光政策課に確認したところ、本年4月、新潟まつりの主催者である「新潟まつり実行委員会」により、新潟まつりの更なる魅力の向上によるまちなかの一層の賑わい創出と観光誘客、加えて来春開催の新潟デスティネーションキャンペーンを盛り上げる趣旨から、本年の新潟まつりでは、期間中の3日間毎日花火を打ち上げることとされたとのことでした。 なお、市としては、経費面として3日間打ち上げにより、更なる観光誘客と経済効果が期待されることから、やすらぎ堤整備による観覧エリアの増や放送エリアの拡大、花火打ち上げ日の増加に伴う安全面の確保のため、増加する経費の一部(700万円)を実行委員会に上乘せ補助する方針との回答がありました。
2	万代市民会館に引きこもり支援の相談業務をやっている同じような施設が併設されている。機能しているのか。ムダではないか。相談件数など実績を市報等で明らかにすべき。(東区)	ご指摘の趣旨は、ひきこもり支援センターの担当課である心の健康センターにお伝えしました。
3	除雪について、狭い道に除雪された雪がたまり、自治会で民間の土地を借りて対応している状態。(東区)	担当課である東区建設課に伝えたところ、自治会・町内会等が経費を負担して除雪業者等に依頼して道路の除排雪を行った場合には、その経費を助成しているので活用いただきたいとのことでした。助成額は、除排雪の方法等によって異なりますが、除雪された雪を排雪運搬用トラックで排雪した場合は、道路の種別に関わらず運搬費用の全額を助成するとのことでした。詳細は区建設課にご相談ください。
4	山ノ下地域から駅前や石山出張所方面へ行く区バスは高齢者や中学生の利用者が多く便利だが、土日の運行も検討して欲しい。また、高齢者への運賃の補助や無料化も検討して欲しい。(東区)	ご要望の趣旨を担当課である東区地域課にお伝えしました。なお、東区地域課からは、区バスの土日運行については、BRT導入に伴う今後のバス路線再編の状況を注視しながら必要性を検討し、また、高齢者への運賃補助については、現在も安い料金設定としていることや、65歳以上で運転免許証を返納された方には、「運転経歴証明書」の提示により料金を半額としていることから、現時点では考えていないとのことでした。
5	予算編成に対する市民意見は、2007年度はゼロ、2013年度もほとんどゼロと日報の報道があった。今年はどうであったか。なぜゼロかという、市でもいろいろな部署から市民意見を募集しているが、ホームページなど難しい手法や難しい言葉で募集していて、1人1人の家庭まで発信が届かないのが現実。単にホームページだけでなくいろいろな手法で具体的に発信して欲しい。(中央区)	担当課である財務課に伝えたところ、予算編成に対する市民意見の募集は2011年度予算編成から実施しており、2011年度が2件(3項目)、2012年度が3件(5項目)、2013年度が40件(28項目)の貴重なご意見をいただき、予算編成に活用させていただいたとのことでした。また、今後の予算編成においては、より市民の皆さまから関心をもって頂けるよう、分かりやすい表現や発信方法について工夫したいとのことでした。

6	市長への手紙があるが、議会でも議長への手紙として受け付けたらどうか。(中央区)	要望がありましたことを議長へ伝えました。
7	後期高齢者医療保険のお知らせが送付されてきたが、金額や期日など必要な情報が全く書かれていない。個別ではなく一般的な情報ならば、市報掲載で十分である。税金を使って無駄な郵送はやめるべきだと思うが、これに経費はいくらかかっているのか。(秋葉区)	担当課である保険年金課に確認したところ、後期高齢者医療制度のお知らせは、「制度そのものの周知に加え、個々の被保険者に対して、自らの給付や負担、特に保険料の賦課・徴収がどのように行われるかについて情報提供することが重要」との国の方針に基づき、特別徴収と普通徴収の徴収開始時期についてのお知らせを発送しているとのことでした。 制度開始から5年が経過し、制度としては定着しつつあるが、年度途中で毎年数千人の方が、年齢到達により後期高齢者医療制度に加入していることや、特別徴収から普通徴収に切り替わる被保険者も多く、こうした方は前年とは徴収開始時期が異なってしまうことから、混乱を招かないよう、事前にお知らせをお送りしているとのことでした。なお、普通徴収の方への発送にかかる経費は、約160万円(約18,000通)との回答がありました。
8	新津商店街のアーケードが取り壊され、そのままの状態になっているが、今後どうなるのか。(秋葉区)	新津駅前商店街のアーケードは、新津駅前商店街協同組合が設置し管理を行ってきたもので、同組合では、設置から40年が経過し、老朽化に伴う修繕等の費用負担が大きくなったことから、アーケードを撤去し、それに合わせてLEDの街灯を設置したとのことでした。今後は、アーケードの維持費用をイベントなどの地域活性化事業に振り向けることとし、アーケード再建の予定はないとのことでした。
9	アグリパークは旧白根市が合併建設計画で提案した事業だが、本庁で引き取った計画という事で、委員会の資料さえ、南区の産業振興課に送られていない。(南区)	担当課である農村・都市交流施設整備課に伝えたところ、委員会提示資料をすべて区に送っているわけではないが、必要な情報はすべて区産業振興課と共有しており、連携を密にしながら事業を進めている。また、市民等に対しても区産業振興課を通じて区自治協議会などに報告しているとのことでした。
10	生活保護に関して、外国人で受給する人の基準はどうなっているか。(西蒲区)	生活保護の担当課である福祉総務課に確認したところ、生活保護は、生活に困窮するすべての国民を対象としており、外国人は制度の適用対象となっていないとのことでした。しかし、国からの通知に基づき、在留カード又は特別永住者証明書に記載された外国人が、その居住地において生活に困窮し、福祉事務所に要保護状態と認められた場合には、人道上の見地から、生活保護法を準用した措置として保護を実施しているとのことでありました。
11	JR越後線の信濃川にかかる鉄橋について、風や地震による脱線の危険性があると思うが、大丈夫か。(西蒲区)	担当課である都市交通政策課を通じてJRに確認したところ、鉄橋の地震・風対策としては、橋上に走行レールとは別に脱線防止用レールを設置しているほか、基準を超える揺れや風が吹いた場合には原則停車をしているとのことでした。その他社内規程に基づく検査の実施や必要に応じた修繕を行っているが、耐震設計は建設当時の基準に基づいているため、今後費用に応じて順次補強していくとの回答がありました。